

令和8年度 第1回 光明小学校運営協議会 会議録(要点記録)

- 1 開催日時 令和8年4月24日(金) 午前9時00分から 11時20分まで
- 2 開催場所 光明小学校 1階 会議室
- 3 出席委員 笹竹 和行、小澤 房世、岡部 かおり、関島 貴浩、實森 浜代、大隅 智、
太田 有昭、太田 利実保、松井 章泰、鈴木 卓巨
- 4 欠席委員 なし
- 5 学 校 二橋 宏之(校長)、新 英樹(教頭)、大浦 幹夫(教務主任)、太田 しのの
(CS ディレクター)
- 6 傍聴者 なし
- 7 会議録作成者 CS ディレクター 太田 しのの

- 8 会長の選出および副会長の指名
司会の教頭から、会長、副会長の選出について委員に意見を求めたところ、笹竹委員を会長に、松井委員を副会長に推挙する旨の発言があり、全員異議なくこれを承認した。

- 9 議長の選出
司会の教頭から、議長の選出について意見を求めたところ、岡部委員を推挙する旨の発言があり、全員異議なくこれを承認した。

- 10 協議事項
 - (1)「1年生を迎える会」を参観しての感想
 - (2)学校運営の基本方針について
 - (3)学校いじめ防止基本方針について

- 11 会議記録
司会の教頭から委員総数10人のうち10人の出席があり、過半数を超えているため、会議が成立している旨の報告があった。
 - (1)「1年生を迎える会」を参観しての感想
議長より「1年生を迎える会」を参観しての感想を求める発議があり、委員から以下の発言があった。
 - 司会の児童がハキハキしていて素晴らしかった。途中で2年生の子が「はずい」と言って去っていったのですが、このようなウザイ・はずい等の今どきの言葉を使う風潮にあるのだと言う点が気になった。

- 全体的には良い会だった。今は1人1人個性を大事にする方針だと思うが、突き詰めると行き詰まってしまうので、二橋校長の方針のように温かくほのぼのを出していけばよいかと思う。(太田利実保委員)
- 今年から横山小の子がいたと思うが、迎え入れる雰囲気良かった。(太田有昭委員)
- 5年生時に課題があった児童が、6年生になり自覚が出たのか立派に下級生をリードする姿に成長を感じ嬉しかった。(岡部委員)
- 今年委員になって6年目なので1年生だった子が6年生になり、成長を感じ大人になった。今日見た1年生も元気で楽しそうにやっていたので、このまま成長してもらいたい。今年も昔遊びボランティアに参加したい。(関島委員)
- 6年生が1年生を膝に乗せたり、長縄で跳びやすいよう配慮したりする姿に、6年生になった自覚を感じ、とても良い雰囲気だった。(小澤委員)
- 最後の1年生の元気なお礼が、すごく良かった。会の趣旨に合致しており非常に良かった。(笹竹委員)

(2) 学校運営の基本方針について

校長より資料(12頁)に基づき説明があり、委員から以下の発言があった。

- 以前より整って見やすくなって良い。(大隅委員)
- このグランドデザインは保護者や子供達の目に触れるところにあるか？(笹竹委員)

→保護者にはPTA総会で説明をします。子供達には常に確認していく。(校長)

- ドリルパークとは何ですか？(大隅委員)

→タブレット学習で中にソフトがあり、AIで個人に合わせた問題を出してくれる。タブレットは重いので、持ち帰る日は教科書の持ち帰る量を調節している。(校長)

- ノーメディアとは何ですか？(大隅委員)

→ユーチューブやSNSの事。見せないではなく、家庭の中で時間を決める等のルールを作ってもら。犯罪防止や情報モラルについては、親が目の届く範囲で利用させる等、今年には評価項目も変えている。(校長)

- PTAと連携すると浸透すると思う。(松井委員)
 - 3年生で保護者と子供のSNS講座がある。(教頭)
 - 孫がユーチューブを見ているとおとなしいが、良いものばかりを見ているとは限らないから怖い。(小澤委員)
 - 何倍速等の早送りで見ているから、目が悪くならないか心配。(関島委員)
 - ノーメディアの推進にゴールはあるのか？(太田有昭委員)
- ゴールはない。見せているとおとなしいし、大人も忙しいから見せてはいるが、必要な体験を経て幼稚園、小学校にあがってこないから、そこでじっとできない、つまらないものはやらない等の問題が起きる。教育委員会としては毎年SNSは家庭の責任で、付き合い方を伝えている。(校長)
- 保護者の年代的にSNSのリテラシー教育を受けていない。先生の言うことは分かるが、見せておけばおとなしいなど、いろいろな理由で黙認してしまっている。親向けに講習した方が推奨の効果が高まるのではないか。その機会があったら良いと思う。(太田有昭委員)
 - 家でできなくても、祖父母の家ではやりたがる。(小澤委員)
 - 慢性化していてパソコンをやりだすと時間制限をしても聞かない。(實森委員)
 - 外遊びができる場がもっとあると良い。(松井委員)
 - 教育委員会としては、毎年SNSは家庭の責任で子供の成長にどうかかわるのか付き合い方を伝える。教職員も家に帰れば、同じ親世代の共通の悩みとしてどうしていくのが良いのか。外遊びなどもできる環境を整えたいと強く思った。(校長)
 - 今の世の中、パソコン(eスポーツゲームなど)の中にも人生があるかもしれないなどと言われると、いいようがない。(大隅委員)
 - 私たちの時代もテレビゲームがあり、それがSNSになって、全然やらないと仲間外れになったりするから一概に良い悪いが言えない。(小澤委員)
 - 夫婦間でも考え方が違う事もあるし、ご褒美や罰にしない方が良いと思う。(関島委員)
 - この話を学級懇談会で出来たら良いと思うし、PTAにも頑張ってもらいたい。(松井委員)

- SNSに夢中になってしまうのはある程度仕方がないが、犯罪の部分に関しては明らかに守ってあげないといけない。それには必ず親のしている前で見ると。子供だけで見るのはダメだとすれば、悪い方のブロックは出来るかと思う。(鈴木委員)

(3) 学校いじめ防止基本方針について

教頭より資料に基づき説明があり、委員から以下の発言があった。

- 目に見ていじめていたりSNSなどで目にしたりは分かりやすいが、事前に学校で把握してなくて保護者から話が来たが場合、その後学校はどう把握していくのか？(太田有昭委員)

→ SNS上のいじめは教職員では把握困難なので、外部や保護者からの情報提供が多い。保護者から申し出があった際、具体的な証拠(映像や書き込みの提示)があれば指導に繋げやすいが、特定の人しか見られないものは学校が入っていけない。(教頭)

- 入っていけなくて対応してもらえないと保護者は学校に不信感を持つと思うから、この場合保護者の責任で、具体的な物を提出してほしいと学校側から伝えても良いのではないか。(太田有昭委員)

- 信頼関係を作る上でも、学校側としてきちんと対処したいから、保護者から提出してもらえると指導しやすい旨を伝えたら良いと思う。(岡部委員)

- 把握できなかった学校の失敗例などを周知、認知してもらうのは意義があると思う。(太田有昭委員)

- 問題があった場合、家庭内から提示してもらわないと外側からは詰められない。SNSもあり昔より難しい。(小澤委員)

協議の結果、全員異議なく承認された。

【その他報告事項等】

教頭から、夢育やらまいか事業について、資料(13頁)を用いて活動費6万円を講師謝礼や1年生の栽培活動(パンジー等)に充当するとの報告があった。

教頭から、学習支援ボランティアについて、資料(14頁)を用いて読み聞かせ等は集まっているが、水やりボランティア等の人数確保が課題だとの報告があった。

教頭から、資料を用いてラーケーションについての説明があった。

教頭から、工事について5月7日より正門が工事のため車は通行不可になり、駐車場不足への対応を検討中との報告があった。

教頭から、令和8年度協議会の目標確認について資料(16頁)について、会議録のHP掲載に加え、QRコード添付などや回覧板の活用、PTAとの連携強化を通じた情報発信を目標とするとの説明があった。

次回会議は、令和8年7月14日(火)13時00分より開催予定。